

令和6(2024)年度 第1回高根沢町部活動地域移行推進委員会 議事録

1 日時 令和6(2024)年11月12日(火) 18:03~19:18

2 場所 高根沢町農村環境改善センター2階 研修室

3 出席者

(1) 委員7名、欠席者なし

小堀 秀一(委員長)、加藤 正明(副委員長)、青木 友宏(副委員長)

荒関 幸子、加藤 真由美、梅村 達美、大谷 喜男

(2) 事務局7名、欠席者なし

坂本教育長(諮問後退席)、石嶋課長、赤羽課長補佐、平山課長補佐兼指導主事兼学校支援係長、
齋藤係長兼社会教育主事兼指導主事、長谷主事、齋藤事務補助

(3) 講師

栃木県教育委員会事務局塩谷南那須教育事務所学校支援課副主幹

角田 光俊 様(諮問後入場、講演後退席)

4 傍聴人 なし

5 内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 委嘱状交付

(4) 委員紹介並びに事務局員紹介

資料1の名簿順に自己紹介

(5) 委員長・副委員長選出

委員長に、小堀秀一様、副委員長に加藤正明様と青木友宏様

(6) 諮問

坂本教育長から小堀委員長へ手交、記念撮影

(7) 委員会運営に係る確認事項

承認

(8) 基調講演

- ① 演題 学校部活動地域移行の現況と方向性
- ② 講師 栃木県教育委員会事務局塩谷南那須教育事務所学校支援課副主幹 角田 光俊 様
- ③ 内容
 - ・ 地域部活動の現況
 - ・ とちぎ部活動移行プラン
 - ・ これまでの実践例

(9) 議事 (委員長)

- ① 高根沢町部活動地域移行推進委員会設置要綱について (資料4) (事務局)
 - ・ 第2条 答申する内容
 - ・ 第4条 答申する日は、遅くとも令和7年9月頃
 - ・ 第7条 専門部会や分科会を設けることが可能
- ② 高根沢町における休日の中学校部活動の地域移行に関するアンケート分析結果について (資料5、6) (事務局)
 - ・ 町内小学校4年生から中学校2年生まで、またその保護者の方々および中学校の教職員を対象に調査した。児童生徒に比べて保護者の回答率は低い状況だった。
 - ・ 中学校教職員の傾向
 - ・ 中学1・2年生の傾向
 - ・ 小学校4・5・6年生の傾向
- ③ 令和3年から6年度中学校・高等学校運動部に関する調査結果 (資料7) (非公開)
- ④ 学校倶楽部の推移 (資料8) (事務局)
 - ・ 明治時代に、寄宿舎生活とともに、ジェントルマン教育として導入される。
 - ・ 大正時代に、学校管理上もよいものとされ、普及する。
 - ・ 戦後、クラブ活動が正規の教育活動になったが、練習の過激化が問題になった。
 - ・ 特別教育活動となったが、外部指導者や対外的な活動が問題となった。
 - ・ クラブ活動が必修化され、先輩後輩の関係づくりやクラス集団に代わっての非行の防止、部活で進学や就職先が決まるなど、大きな意義があった
- ⑤ 部活動エピソード集 (資料9) (事務局)
 - ・ 部活動が中学生の生活に大きなウェイトを占めている。
 - ・ 生徒と教師の人間関係が育まれている。
- ⑥ 意見交換

委員：中学校に入ったら美術部に入りたい子が多いのに、現在美術関係に加入している小学生はいない。たんたん探検隊を通して、ニーズがあるのではないか。

委員：中学校の顧問と専門部会みたいなものを開いて、話し合っていないと先に進まないのではないか。

委員：高根沢には、指導する方がたくさんいるので、文化面についても多少携わっていただけるのではないか。

(10) その他

① 次回は、令和7年1月28日（火）か30日（木）か31日（金）

② 会議は18時開始

(11) 閉会